

令和3年度 第32回八幡湿原自然再生協議会議事録

令和4年3月20日（日）14時～（2時間30分）
北広島町本庁2階201会議室（北広島町有田）

【出席】

委員：中越信和，水田國康，野村吉春，白川勝信，内藤順一，佐久間智子，上野吉雄，大田実果，田坂素臣，中田隆一，前垣壽男，齋 陽，和田秀次，平野 正，鶴田昌史（関係者含む）
事務局：原田靖久，渡辺浩毅，池部七重

1 開会

（委員31名中16名出席（1名重複））

2 挨拶【中越会長】

新型コロナウイルスのため，3年ぶりの対面開催となった。先日生物多様性保全の講演会が開催され，レッドデータブックの改訂について概要を紹介した。

湿地といっても規模など様々だが，自然再生という困難な課題に協議会で協力して取り組んでいきたい。

3 議題

(1) 事業報告

①八幡湿原自然再生協議会名簿

②八幡湿原地下水位観測結果

自記記録式水位計を2010年に設置してから10年以上経過し，電池切れなどにより令和2年度の途中までで計測が停止している。水位計を更新し，なるべく早く計測を再開したい。今回は，携帯式の記録について令和3年度のデータを更新している。

全体的に，上流は変動がないが下流の範囲はここ3年程度で上昇している地点がある。

③令和3年度の活動報告及び令和4年度活動計画

関係会員から自然再生事業地内で実施，開催された「自然観察会」，「環境学習」，「維持管理（草刈りなど）」，「生物モニタリング調査」などが幅広く実施され，次年度も引き続き計画されている。

保全・管理部会の維持管理の成果により，希少種であるチゴモズの飛来や，観察会参加者が増加したことについて報告があった。

また，広島新庄中学・高等学校の環境学習の取組については，林野庁長官感謝状（野生生物保護功労者表彰），林野庁長官賞（全国野生生物保護活動発表大会）を受賞した。

欠席した委員の報告内容への質問（調査の具体的な位置など）の確認については，後日行う。

（詳細は各会員から提出された配付資料による。）

(3) 協議事項

①保全・管理部会から令和3年度活動報告及び令和4年度活動計画（案）について

コロナ禍ということもあり，計画していた全ての内容を実施できてはいないが，日本山岳会や地元も含めたボランティアの協力により，作業を進めてきた。

令和4年度の作業内容について、承認された。盛土と図面に表示があるのは、導水路を浚渫した土を、水の誘導を目的に置くことを表している。

②今後の長期的な活動計画についての提案について

令和3年3月の意見交換会において、平成18年に策定した八幡湿原自然再生事業全体構想及び実施計画について、内容を見直すことが提案されたことを受け、各部会から長期的な計画（案）について提示し、説明を行った。

現在の状態を踏まえたうえで、今後どうしていくのか、全体構想及び実施計画の見直しの具体的な内容については、次回協議会（7月～8月）において再度議論することとした。事務局において、自然再生事業に係る協議会での合意事項等の経緯を確認したうえで、今後の方針を議論する。

5 閉会

令和4年3月20日（日）

確認者	八幡湿原自然再生協議会 会長 中越信和
	八幡湿原自然再生協議会 委員 鶴田昌史 (広島県環境県民局 自然環境課 課長)
作成者	八幡湿原自然再生協議会事務局 池部七重 (広島県環境県民局 自然環境課)